

# 自律した生徒の育成

校長 感王寺 等

昭和22年5月2日に亀山小学校校舎・校地を借用し、川内市立川内北中学校として開学した本校は、昭和23年4月5日に川内市宮内町678番地に可愛教場（現可愛小学校）とともに設定され、平成16年10月12日の市町村合併により薩摩川内市立川内北中学校と校名変更し、今年度で開校75年目を迎えました。

校区は九州三大河川の一つである川内川を境に北部中央市街地にあり、近年は大型商業施設の出店が多く賑わいを見せています。また、小高い常緑の歴史深き可愛山稜と新田神社の麓に位置する本校周辺には豊かな自然が残り、薩摩国府、薩摩国分寺跡など重要な文化遺産も数多く残り、地域の教育に対する関心は高く、協力的な地域でもあります。

生徒は亀山小学校・可愛小学校・育英小学校の三校より入学し、九州新幹線、肥薩おれんじ鉄道、国道3号線沿いの市街地、その周辺部の住宅街、川内川水系の豊かな水を利用した農村地帯に分かれ、通学距離は約6kmの範囲内にあります。

平成21年度からは「連携型」の小中一貫教育を実践し、既存の小・中学校6・3制の枠組みに前期（小1～小4）・中期（小5～中1）・後期（中2、3）の4・3・2制の考え方を組み入れ、義務教育9カ年間で身に付けるべき力を4校で共有しています。そして、令和4年度より学校教育目標を「自律した生徒の育成」と定め、将来の自立に向け、社会を構成する当事者意識を持ち、他者と協力しながら課題を解決できる生徒の育成に努めています。

23,000名を越える卒業生の歴史と伝統を旨に、めざす生徒像である「主体的に学び考え、正しく行動できる生徒」「礼儀正しく、思いやりのある生徒」「勤労を尊び、進んで奉仕する生徒」「自ら鍛え、心身ともにたくましい生徒」の具現化に、今年度は全校生徒787名＋職員69名で日々取り組んでいます。



【PTA親父の会と生徒会の門松づくり】